

RT116-3320 メモリーバックアップ 取扱説明書

この度は、RT116-3320 メモリーバックアップ をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」の内容をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、車両 OBD II 端子およびアクセサリソケットと接続し、車両に電源を供給する工具です。オーディオや車両 ECU 等のメモリーを保存するため、一時的に電源を供給します。目的以外での使用は絶対にしないでください。
- ・ 本製品は、12V 車両専用になります。他の電圧車両で使用しないでください。
- ・ 自動車や製品の構造をよく理解し、かつ電気の知識を有する十分な経験のある専任の作業者が本製品を使用してください。
- ・ 車両メーカーは本製品でのメモリーのバックアップを推奨しておりません。本製品の使用による車両および電装品の故障に対して一切責任を負いません。ご了承ください。
- ・ 本製品を接続した状態でエンジンを始動しないでください。
- ・ 濡れた手や衣服で本製品を使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ・ 子供の手の届く場所に本製品を放置・保管しないでください。
- ・ 本製品を修理および改造しないでください。



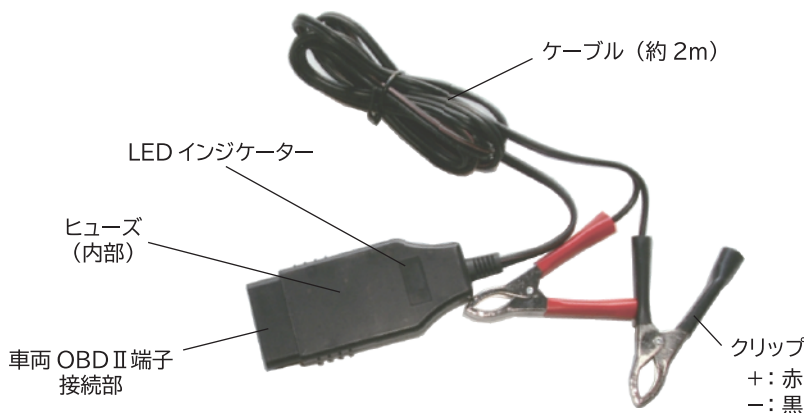
注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性あります。

- ・ 本製品は汎用設計ですが、すべての車両に対しての適合は保証しかねます。車両によってはバックアップできない場合があります。
- ・ 本製品・付属品、また、車両の端子・金属部どうしで接触および工具を介しての接触はしないでください。ショートの原因になります。
- ・ 落下や強い衝撃を与えないでください。
- ・ 直射日光下や高温高湿な場所で保管しないでください。
- ・ 使用前に点検し、破損や異常がある場合は使用せず、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■ セット内容・名称

メモリーバックアップ本体



アクセサリ 接続ケーブル



*注) 予告なくセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 使用方法

下記手順でバックアップ（電源を車両に供給）状態にして、車両バッテリーの交換作業を行います。

- * バックアップ電源は、**DC12V** を供給してください。
- * LED インジケータの点灯状態を確認しながら作業を行ってください。
- * プッシュスタート車両の場合は、プッシュスタートスイッチでキー操作をしてください。

作業手順

OBD IIを使用する場合

車両を次の条件にしてください。

- ・すべてのドア閉、D 席窓全開
- ・すべてのライト類、用品電源 OFF
- ・ルーム球・灯火類・オーディオ等
- ・キー OFF 後、30 秒以上待機

1. メモリーバックアップ本体を車両 OBD II 端子に接続します。
2. メモリーバックアップ本体のクリップにバックアップ電源を接続します。
3. 車両バッテリーを交換します。
4. 交換後、逆の手順でメモリーバックアップ本体を取り外します。

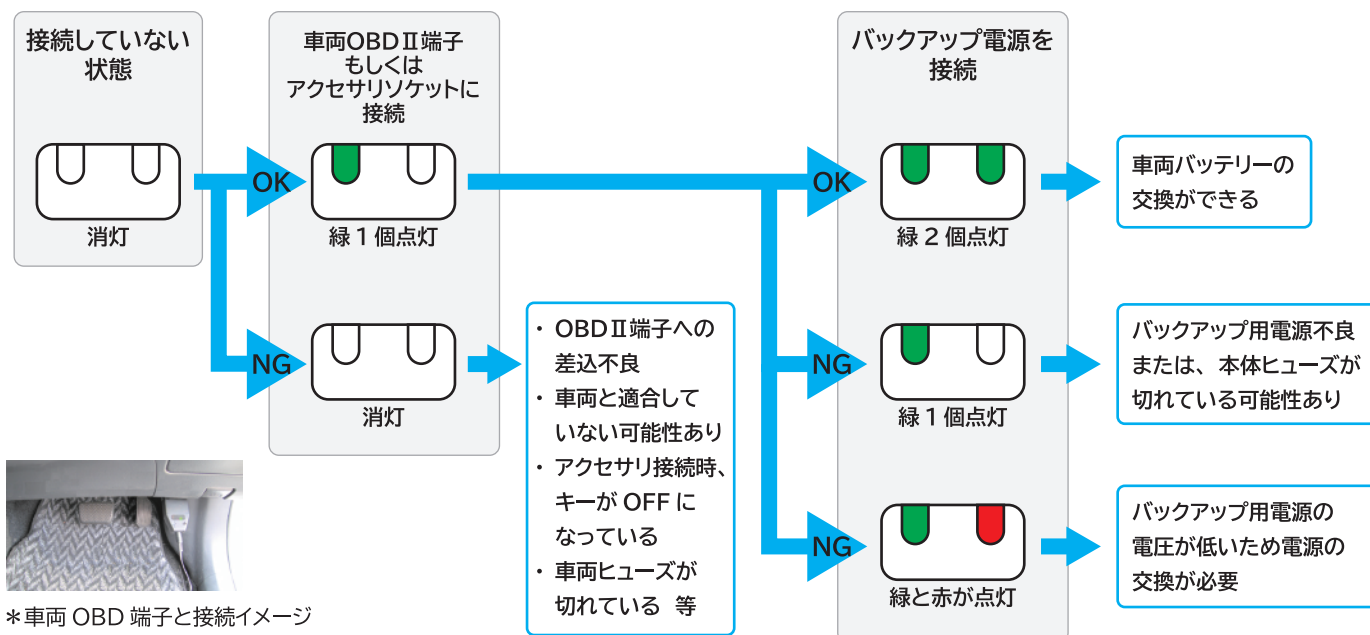
アクセサリを使用する場合

車両を次の条件にしてください。

- ・すべてのドア閉、D 席窓全開
- ・すべてのライト類、用品電源 OFF
- ・ルーム球・灯火類・オーディオ等
- ・キーを ACC にする

1. メモリーバックアップ本体とアクセサリ接続ケーブルを接続した後、車両アクセサリソケットに接続し、キーを ACC にします。
2. メモリーバックアップ本体のクリップにバックアップ電源を接続します。
3. 車両バッテリーを交換します。
4. 交換後、逆の手順でメモリーバックアップ本体を取り外します。

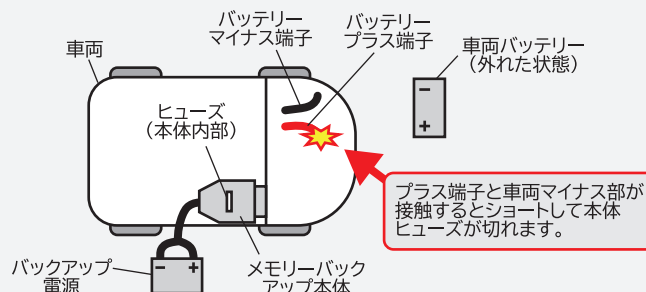
LED インジケータの点灯状態



* 車両 OBD 端子と接続イメージ

⚠ 作業上の注意

- ・ 作業時は、本体の LED インジケータの状態を確認しながら作業を進めてください。バックアップできない等の失敗を未然に防ぐことができます。
- ・ 本体を車両 OBD II 端子に接続（キー OFF）、もしくはアクセサリソケットに接続（キー ACC）した時に LED インジケータが点灯しない場合は、この車両が本製品と適合していない可能性があります。（バックアップ電源は未接続）
- ・ バックアップ時は、キーを OFF もしくはアクセサリ接続時は ACC の状態で作業してください。ON や START にしないでください。また、ライト類や用品の電源は OFF にしてください。過電流により本体内ヒューズまたは車両ヒューズが切れる可能性があります。
- ・ バックアップ状態で車両バッテリーを取り外し時に、車両バッテリーのプラス端子をショート（マイナス端子・ボディー金属部に触れるまたは工具を介して触れる等）しないでください。本体内ヒューズが切れたり、車両 ECU や用品に影響を及ぼし故障の原因になります。プラス端子に絶縁処理をする等、十分注意して作業してください。



株式会社レックス
〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#079-20422